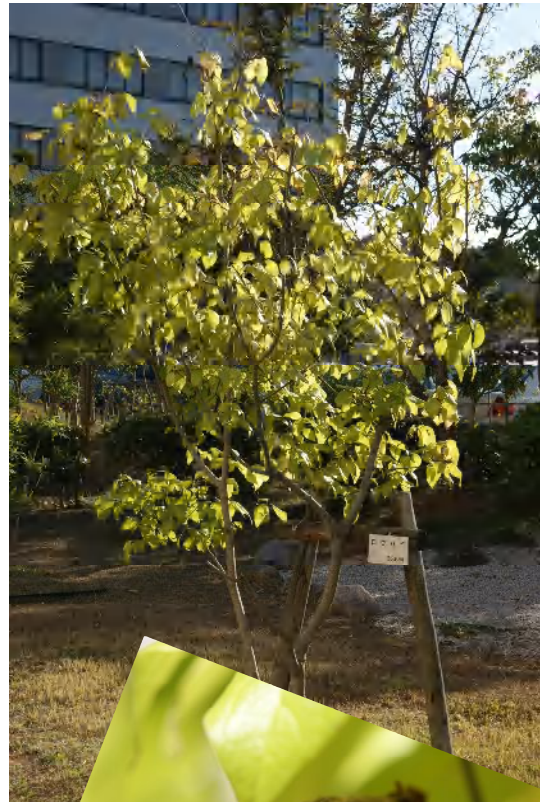


蠟梅 Now

二十四節気の一つ「立秋」は夏から秋への変わり目。秋の気配が初めて現れてくる頃といわれ、暦の上では秋になる。時期的には8月7日頃になるが、その実感は乏しい。地球温暖化の影響もあるのだろうか、感覚的にはまだ真夏といってもおかしくない。自然の変化に疎くなった感性がそうさせるのかもしれない。9月23日頃の「秋分」になるとさすがに「秋」を感じるが、今年も残暑が尾を引いて秋の深まりを感じるようになったのは、10月も後半に入ってからである。

当 NPO 法人のシンボルツリー「蠟梅」は、わずかながら黄葉の兆しが見えるが、まだ青々と茂っているという表現が似つかわしい。来る開花に備えて存分にエネルギーを蓄えておきたい、そんな様子にも見える。あちこちに見られる果実は時間の流れとともに数ヶ月前の緑色から褐色の蓑虫状態に変化してきた。それらの中に、まるで映画の「エイリアン」といってもおかしくない果実を見つけた。なんとも不可思議な造形である。異次元のエイリアンは繁殖力が旺盛であるが、この果実の種は硬い殻に包まれてなかなか発芽がみられない、まるで世の中に出るのを拒むかのように・・・。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸

事務局長 大森 信

〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>